題目はゴシック体（17 ポイント）でセンタリングし複数行にわたる場合はこのようにする（2 行目の文字数が少ない）

副題を 14 ポイントで表示（ない場合は，この行を削除）

（登壇者氏名の前に○印）大学院工学研究科 X 専攻　○関東　太郎
理工学科 Y 学系　　工学　花子
（最終行に指導教授）理工学科 Z 学系　　学院三四郎

1　はじめに

章名は，ゴシック体（10 ポイント（でセンタリングし，文章は 1 行空けて，明朝（10 ポイント）で記述する。

所属先名から発表者名までの部分は，右詰め，ゴシック体（12 ポイント）で記載する。本文の書き出しは，1 行空けること。

2　レイアウト

2.1　節名について（節名が 2 行にわたる場合は，この例によること

2.1.1　項名について

項の書き出しは，このようにすること。章名の前後には，それぞれ 1 行あけること。節名・項名（章名やそれぞれの番号も含む）は、ゴシック体（10 ポイント）で書くこと。

2.2　節と節の間について

節と節の間は，行を空ける必要はない。

2.3　図表について

図や表は，段の最上部あるいは最下部にできるだけ割り付けるのがよい。図表に関しては，日本語あるいは英語（どちらかに統一）で表現すること（図表番号，図表名，図表中の説明）。本文中，図表中の単位は，SI 単位系に従うこと。図表番号は Arial，図表名は MS ゴシックとして，それぞれボールドする。本文中でも，初出時は「**図 1**」のようにして引用し，2 回目以降では「図 1」のようにする。

2.4　見やすいレイアウト（読みやすさ）

図／表と図／表との間に，数行の本文は書かない。上述したように，段の最上部あるいは最下部に複数の図表をまとめるとよい。

参考文献（これには章番号はつけない）の記述の後には，何も書かない。

3　題目・氏名など

執筆要項の説明にしたがって記述すること。□□□

2 枚目先頭行□□□